



2019年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2019年4月25日

上場会社名 日東化工株式会社

上場取引所

東

コード番号 5104 URL <http://www.nitto-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 荒川 良平

問合せ先責任者 (役職名) 理事管理部所管 (氏名) 楫野 卓也

TEL 0467-74-3111

定時株主総会開催予定日 2019年6月21日

配当支払開始予定日

2019年6月24日

有価証券報告書提出予定日 2019年6月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	7,681	1.8	241	19.7	247	16.1	184	37.7
2018年3月期	7,825	1.6	300	4.9	294	3.3	295	10.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	48.06		6.9	3.8	3.1
2018年3月期	77.09		11.9	4.6	3.8

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 百万円 2018年3月期 百万円

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	6,447	2,748	42.6	716.19
2018年3月期	6,610	2,623	39.7	683.74

(参考) 自己資本 2019年3月期 2,748百万円 2018年3月期 2,623百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	560	291	277	226
2018年3月期	418	161	128	235

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期		0.00		15.00	15.00	57	19.5	2.3
2019年3月期		0.00		10.00	10.00	38	20.8	2.1
2020年3月期(予想)		0.00		10.00	10.00		20.2	

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,780	0.5	115	3.6	113	2.3	80	2.2	20.85
通期	7,690	0.1	270	11.9	265	7.1	190	3.0	49.51

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	3,840,000 株	2018年3月期	3,840,000 株
期末自己株式数	2019年3月期	2,386 株	2018年3月期	2,366 株
期中平均株式数	2019年3月期	3,837,616 株	2018年3月期	3,837,762 株

(注)当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(持分法損益等)	10
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
経営概況報告 2018年度決算	16
2019年度の業績予想	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期における我が国経済は、企業業績や雇用情勢の改善などにより景気は緩やかな回復基調を維持しているものの、米中間の貿易摩擦問題や欧州の政治情勢など、多くの懸念材料を抱える先行き不透明な状況で推移しました。

このような環境下、売上高につきましては、成形品での一部製品が販売終了したこと等により前期比減収となりました。また、利益面におきましても、販売の減少影響に加え、原料及びユーティリティ価格の高騰等により前期比減益となりました。

その結果、当期の業績は売上高7,681百万円(前期比1.8%減)、営業利益241百万円(前期比19.7%減)、経常利益247百万円(前期比16.1%減)、当期純利益184百万円(前期比37.7%減)となりました。

(セグメント別の状況)

(ゴム事業)

ゴム事業全体の売上高は前期を14百万円下回る5,936百万円(前期比0.2%減)となりました。

<ゴムコンパウンド>

自動車関連の受注が堅調に推移し、前期を上回る売上高となりました。

<シート・マット>

ゴムシートにおいては受注が堅調に推移し、概ね前年並みの売上高となりました。ゴムマットにおきましては、主力製品であるブラックターフの受注は好調に推移したものの、前期は工事案件のスポット受注があったこと等により、前期を下回る売上高となりました。

<成形品>

クッションタイヤ等の売上は好調に推移しているものの、一部製品の販売終了の影響により前期を下回る売上高となりました。

(樹脂事業)

樹脂事業全体の売上高は、前期を131百万円下回る1,721百万円(前期比7.1%減)となりました。

<高機能樹脂コンパウンド>

受注が低調に推移したことにより、前期を下回る売上高となりました。

<樹脂洗浄剤等>

樹脂洗浄剤の受注は堅調に推移し、前期を上回る売上高となりました。導電性樹脂ECXにおいては、概ね計画通りの受注で推移いたしましたが、前期はスポット受注があったことにより、前期を下回る売上高となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産、負債、純資産の状況に関する分析)

当期末の総資産は6,447百万円となり、前期末に比べ162百万円減少しました。流動資産は3,254百万円となり、前期末に比べ179百万円減少しました。これは主に売上債権の減少によるものであります。固定資産は3,193百万円となり、前期末に比べ16百万円増加しました。これは主に設備投資額の増加によるものであります。

負債は3,699百万円と、前期末に比べ287百万円減少しました。流動負債は3,253百万円となり、前期末に比べて309百万円減少しました。これは主に借入金の返済によるものであります。固定負債は445百万円と前期末に比べ22百万円増加しました。これは主に退職給付引当金の繰り入れによるものであります。

純資産は2,748百万円と、前期末に比べ124百万円増加しました。これは主に、当期純利益によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

営業活動によるキャッシュ・フローは560百万円の収入となり、前期に対して141百万円の収入増となりました。主な要因は、売上債権が減少したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、291百万円の支出となり、前期に対して129百万円の支出増となりました。これは主に固定資産の取得による支出が増加したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、277百万円の支出となり、前期に対して149百万円の支出増となりました。これは主に借入金を返済したことによるものです。

以上の結果現金及び現金同等物の残高は226百万円となり、前期に対して8百万円減少しました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
自己資本比率 (%)	29.3	30.1	38.5	39.7	42.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	43.2	43.8	54.4	44.6	31.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(倍)	8.2	4.6	3.6	4.0	2.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	13.4	25.6	27.4	29.5	61.2

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジレシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を払っている全ての負債を対象としております。

※キャッシュ・フロー及び利払いは、キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動キャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いています。

(4) 今後の見通し

今後の経済情勢におきましては、雇用・所得環境の改善が続く中、政府の諸施策による各種効果もあり今後においても緩やかな回復基調が続くと期待しておりますが、海外の政治・経済の動向や金融資本市場の変動リスクもあり依然不透明な状況が続くものと予想されます。

このような環境下、当社は、営業面では自社製品の販売拡大に努め、具体的にはゴムマットの主力製品であるクッションマットやブラックターフ、及び樹脂洗剤等におけるスーパークリーンの販売拡大、並びに高機能樹脂コンパウンドでの新規受託獲得に引き続き取り組んでまいります。

また、生産面では安全及び品質管理体制をより一層強化し法令順守を徹底するなかで、生産稼働率や歩留まりの向上及び合理化等に取り組み原価低減に努めてまいります。

次期の見通しにつきましては、売上高は7,690百万円、営業利益は270百万円、経常利益は265百万円、当期純利益は190百万円を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、企業間及び経年での比較可能性を確保するため、当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）に基づいて作成しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	235	226
受取手形	593	497
売掛金	1,911	1,862
商品及び製品	238	245
仕掛品	128	131
原材料及び貯蔵品	193	197
前払費用	14	14
未収入金	115	68
立替金	3	10
流動資産合計	3,433	3,254
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	554	592
構築物(純額)	57	66
機械及び装置(純額)	702	700
車両運搬具(純額)	9	13
工具、器具及び備品(純額)	40	55
土地	1,575	1,575
リース資産	-	13
建設仮勘定	62	26
有形固定資産合計	3,003	3,044
無形固定資産		
ソフトウェア	34	25
その他	11	13
無形固定資産合計	45	39
投資その他の資産		
投資有価証券	27	23
関係会社株式	16	16
貸倒引当金	△5	-
繰延税金資産	81	67
その他	6	1
投資その他の資産合計	127	109
固定資産合計	3,176	3,193
資産合計	6,610	6,447

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	43	38
買掛金	1,364	1,327
短期借入金	1,610	1,410
1年内返済予定の長期借入金	20	20
リース債務	-	3
未払金	205	154
未払費用	81	73
未払法人税等	48	25
未払消費税等	6	23
預り保証金	55	57
預り金	33	41
賞与引当金	94	76
設備関係支払手形	1	1
流動負債合計	3,563	3,253
固定負債		
長期借入金	30	10
リース債務	-	11
退職給付引当金	366	390
役員退職慰労引当金	18	25
資産除去債務	7	7
固定負債合計	423	445
負債合計	3,986	3,699
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,920	1,920
資本剰余金		
その他資本剰余金	0	0
資本剰余金合計	0	0
利益剰余金		
利益準備金	165	171
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	537	658
利益剰余金合計	702	829
自己株式	△2	△2
株主資本合計	2,620	2,747
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3	1
評価・換算差額等合計	3	1
純資産合計	2,623	2,748
負債純資産合計	6,610	6,447

(2) 損益計算書

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	7,825	7,681
売上原価		
製品期首たな卸高	223	238
当期製品仕入高	773	517
当期製品製造原価	6,096	6,283
合計	7,093	7,039
他勘定振替高	3	5
製品期末たな卸高	238	245
製品売上原価	6,851	6,788
売上総利益	974	892
販売費及び一般管理費		
販売費	420	404
一般管理費	252	246
販売費及び一般管理費合計	673	651
営業利益	300	241
営業外収益		
受取利息及び配当金	5	6
未払配当金除斥益	0	0
補助金収入	-	3
保険差益	-	3
その他	3	1
営業外収益合計	9	16
営業外費用		
支払利息	14	9
その他	0	1
営業外費用合計	14	10
経常利益	294	247
特別利益		
固定資産売却益	20	-
特別利益合計	20	-
特別損失		
固定資産除却損	2	6
減損損失	24	-
関係会社出資金売却損	26	-
特別損失合計	53	6
税引前当期純利益	261	240
法人税、住民税及び事業税	49	40
法人税等調整額	△83	15
法人税等合計	△33	55
当期純利益	295	184

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		自己株式	
		その他資本剰余金	資本剰余金合計		その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	1,920	0	0	161	284	445	△2	2,363
当期変動額								
剰余金(その他資本剰余金)の配当				3	△42	△38		△38
当期純利益					295	295		295
自己株式の取得							△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	3	253	257	△0	257
当期末残高	1,920	0	0	165	537	702	△2	2,620

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	2	2	2,366
当期変動額			
剰余金(その他資本剰余金)の配当			△38
当期純利益			295
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	0	0	0
当期変動額合計	0	0	257
当期末残高	3	3	2,623

当事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	
		その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	1,920	0	0	165	537	702	△2	2,620
当期変動額								
剰余金(その他資本剰余金)の配当				5	△63	△57		△57
当期純利益					184	184		184
自己株式の取得							△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	5	121	126	△0	126
当期末残高	1,920	0	0	171	658	829	△2	2,747

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	3	3	2,623
当期変動額			
剰余金(その他資本剰余金)の配当			△57
当期純利益			184
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2	△2	△2
当期変動額合計	△2	△2	124
当期末残高	1	1	2,748

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	261	240
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△0
固定資産売却損益 (△は益)	△20	-
補助金収入	-	△3
減価償却費	213	227
減損損失	24	-
固定資産除却損	2	6
関係会社出資金売却損	26	-
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	11	24
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6	6
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△5
賞与引当金の増減額 (△は減少)	11	△17
受取利息及び受取配当金	△5	△6
支払利息	14	9
売上債権の増減額 (△は増加)	△211	144
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△28	△15
その他の資産の増減額 (△は増加)	△30	32
仕入債務の増減額 (△は減少)	265	△40
未払費用の増減額 (△は減少)	18	△7
その他の負債の増減額 (△は減少)	△104	30
小計	454	624
利息及び配当金の受取額	5	6
利息の支払額	△14	△9
法人税等の支払額	△27	△62
営業活動によるキャッシュ・フロー	418	560
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△221	△289
有形固定資産の売却による収入	30	-
無形固定資産の取得による支出	△9	△7
関係会社出資金の売却による収入	38	-
投資有価証券の売却による収入	-	1
補助金の受取額	-	3
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△161	△291
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	560	△200
配当金の支払額	△38	△57
長期借入れによる収入	60	-
長期借入金の返済による支出	△709	△20
自己株式の増減額 (△は増加)	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△128	△277
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	128	△8
現金及び現金同等物の期首残高	106	235
現金及び現金同等物の期末残高	235	226

(5) 財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(持分法損益等)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

A. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会・経営会議が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社はゴム製品・樹脂製品の製造・販売をしております。主な製品群としてゴム製品は「ゴムコンパウンド」「シート」「マット」「成形品」、樹脂製品は「高機能樹脂コンパウンド」「樹脂洗浄剤等」に区分されます。製品の製造方法・過程等が概ね類似していることから、ゴム製品と樹脂製品をそれぞれ集約し、「ゴム事業」と「樹脂事業」の2つを事業セグメントとしており、報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	ゴム事業	樹脂事業	
売上高			
外部顧客への売上高	5,950	1,852	7,803
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	5,950	1,852	7,803
セグメント利益	219	87	306
セグメント資産	4,266	1,584	5,851
その他の項目			
減価償却費	165	45	210
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	273	37	311

当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	ゴム事業	樹脂事業	
売上高			
外部顧客への売上高	5,936	1,721	7,657
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	5,936	1,721	7,657
セグメント利益	193	76	269
セグメント資産	4,241	1,506	5,748
その他の項目			
減価償却費	175	48	224
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	209	61	270

4. 報告セグメント合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	7,803	7,657
その他の調整額(注)	21	23
財務諸表の売上高	7,825	7,681

(注)その他の調整額は、報告セグメントではない事業セグメントの売上高であります。

(単位:百万円)

利益又は損失(△)	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	306	269
その他の調整額(注)	△6	△28
財務諸表の営業利益	300	241

(注)その他の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位:百万円)

資産	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	5,851	5,748
全社資産(注)	759	699
財務諸表の資産合計	6,610	6,447

(注)全社資産は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に本社有形固定資産であります。

(単位：百万円)

	報告セグメント計		調整額		財務諸表計上額	
	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度
減価償却費	210	224	3	2	213	227
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	311	270	0	2	311	273

(注)調整額は、全社資産の減価償却費及び設備投資であります。

5. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

B. 関連情報

前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	ゴム コンパウンド	シート マット	成形品	高機能樹脂 コンパウンド	樹脂洗浄剤等	合計
外部顧客への売上高	3,037	1,443	1,469	1,312	540	7,803

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所有している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称	売上高	関連するセグメント
東洋ゴム工業㈱	2,249	ゴム事業
三菱ケミカル㈱	1,101	樹脂事業
愛知タイヤ工業㈱	1,062	ゴム事業

当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位: 百万円)

	ゴム コンパウンド	シート マット	成形品	高機能樹脂 コンパウンド	樹脂洗浄剤等	合計
外部顧客への売上高	3,260	1,388	1,287	1,190	530	7,657

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所有している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位: 百万円)

顧客の名称	売上高	関連するセグメント
TOYO TIRE(株)	2,626	ゴム事業
愛知タイヤ工業(株)	1,082	ゴム事業
三菱ケミカル(株)	1,025	樹脂事業

C. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

単位 (百万円)

	ゴム事業	樹脂事業	その他	合計
減損損失	16	—	7	24

(注) 「その他」の金額は、報告セグメントに帰属しない営業倉庫に係る金額であります。

当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

D. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

E. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)		当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
1株当たり純資産額	683円74銭	1株当たり純資産額	716円19銭
1株当たり当期純利益金額	77円09銭	1株当たり当期純利益金額	48円06銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。	

(注) 1. 当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

算定上の基礎

1 1株当たり純資産額

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	2,623	2,748
普通株式に係る純資産額(百万円)	2,623	2,748
普通株式の発行済株式数(株)	3,840,000	3,840,000
普通株式の自己株式数(株)	2,366	2,386
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	3,837,634	3,837,614

2 1株当たり当期純利益

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益(百万円)	295	184
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(百万円)	295	184
1株当たり当期純利益の算定に用いられた 期中平均株式数(株)	3,837,762	3,837,616

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

決算等概況説明資料(1/2)

経営概況報告

日東化工株式会社

2018年度決算

(単位:百万円、切捨表示)

	当 期	前 期	差 異	伸び率 %
売 上 高	7,681	7,825	△ 144	△ 1.8
営 業 利 益	241	300	△ 59	△ 19.7
経 常 利 益	247	294	△ 47	△ 16.1
特 別 利 益	-	20	△ 20	-
特 別 損 失	△ 6	△ 53	46	-
税引前当期純利益	240	261	△ 21	△ 8.2
当 期 純 利 益	184	295	△ 111	△ 37.7
1株あたり配当	10.0円	15.0円	-	-

(売上高比較)

(単位:百万円、切捨表示)

製 品 別		当 期	前 期	差 異	伸び率 %
ゴ ム 事 業	コンパウンド	3,260	3,037	222	7.3
	シート・マット	1,388	1,443	△ 54	△ 3.8
	成形品	1,287	1,469	△ 182	△ 12.4
	計	5,936	5,950	△ 14	△ 0.2
樹 脂 事 業	高機能樹脂コンパウンド	1,190	1,312	△ 121	△ 9.2
	樹脂洗浄剤等	530	540	△ 10	△ 1.9
	計	1,721	1,852	△ 131	△ 7.1
その他		23	21	1	7.6
合 計		7,681	7,825	△ 144	△ 1.8

総資産

6,447

6,610

ROA

3.8%

4.6% 経常利益/総資産(期首・期末平均)

決算等概況説明資料(2/2)

2019年度の業績予想

日東化工株式会社

(1) 損益予想

(単位:百万円、切捨表示)

	2019年度	2018年度	差異	伸び率%
売上高	7,690	7,681	8	0.1
営業利益	270	241	28	11.9
経常利益	265	247	17	7.1
税引前当期純利益	260	240	19	8.2
当期純利益	190	184	5	3.0
1株あたり配当	10.0円	10.0円	-	-

(2) 売上計画

(単位:百万円、切捨表示)

製品別		2019年度	2018年度	差異	伸び率%
ゴム事業	コンパウンド	3,150	3,260	△ 110	△ 3.4
	シート・マット	1,400	1,388	11	0.8
	成形品	1,200	1,287	△ 87	△ 6.8
	計	5,750	5,936	△ 186	△ 3.1
樹脂事業	高機能樹脂コンパウンド*	1,350	1,190	159	13.4
	樹脂洗浄剤等	570	530	39	7.5
	計	1,920	1,721	198	11.5
その他		20	23	△ 3	△ 15.5
合計		7,690	7,681	8	0.1

総資産	6,200	6,447
ROA	4.2%	3.8% 経常利益/総資産(期首・期末平均)